

事務事業名		観光施設維持管理事業				☐ 実施計画登載事業 ☐ 合併建設計画登載事業	
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興				事業期間 ☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 - 年度～) 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	
	施策名	23 豊かな地域資源を活用した観光の振興					
	基本事業名	01 観光客の誘致と観光宣伝の充実					
根拠法令						予算科目 会計 款 項 目 事業 01 07 01 04 11	
所属	部課名	商工港湾部観光推進室					
	室長名	鈴木 弘					
	係名		電話	27-3111			
	担当者	高木隆幸	内線	114			
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 市内の公衆トイレ、キャンプ場等を良好な状態で維持管理するとともに基石園地など観光地の草刈、支障木の伐倒など観光施設の維持管理を行う。なお、東日本大震災津波により海水浴場の砂浜、トイレ、シャワー室は流失した。事業費は維持管理のための下記のと委託料等に支出される。 内容 ・基石海岸キャンプ場及びトイレ浄化槽他の管理委託 ・清掃用消耗品の購入 ・観光地草刈及び公衆トイレ等清掃委託 ・岩手の国立公園をきれいにする会大船渡支部負担金交付 ・観光施設の光熱水費支出 ・基石椿園樹木管理委託 ・自然保護管理員及び基石・綾里園地内施設管理委託						全体計画(※期間限定複数年度のみ) 総投入量(千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標										
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 現場での状況確認、修繕工事及び草刈委託業者手配、負担金交付 基石海岸園地外風倒木処理、基石海岸レストハウスへのエアコン及び風除湿設置 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 現場での状況確認、修繕工事及び草刈委託業者手配、負担金交付 基石海岸園地外風倒木処理、基石海岸レストハウスへのパーテーション設置	  	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 草刈り・清掃回数(1施設あたり)</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>イ 保守点検回数(1施設あたり)</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア 草刈り・清掃回数(1施設あたり)	回	イ 保守点検回数(1施設あたり)	回	ウ	
		名称	単位							
		ア 草刈り・清掃回数(1施設あたり)	回							
		イ 保守点検回数(1施設あたり)	回							
ウ										
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 市内観光関係施設 観光客	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 維持管理が必要な観光関係施設数</td> <td>施設</td> </tr> <tr> <td>キ 観光客入込数</td> <td>千人</td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	カ 維持管理が必要な観光関係施設数	施設	キ 観光客入込数	千人	ク		
名称	単位									
カ 維持管理が必要な観光関係施設数	施設									
キ 観光客入込数	千人									
ク										
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 安全で快適に利用してもらう。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 苦情・不具合件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>シ 苦情及び巡回による不具合対応率</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	サ 苦情・不具合件数	件	シ 苦情及び巡回による不具合対応率	%	ス		
名称	単位									
サ 苦情・不具合件数	件									
シ 苦情及び巡回による不具合対応率	%									
ス										
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 大船渡市を訪れる。 魅力がPRされ、認知度が高まる。										

(2) 総事業費・指標等の推移										
				年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)
				単位						
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円						
			都道府県支出金	千 円	3,463	3,463	3,018	2,674	2,679	2,674
			地方債	千 円						
			その他	千 円	200	0	0	0	0	200
			一般財源	千 円	13,507	8,608	8,045	4,503	12,098	11,000
	事業費計 (A)		千 円	17,170	12,071	11,063	7,177	14,777	13,874	
	人件費	正規職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4	
		延べ業務時間	時 間	128	128	128	128	128	128	
		人件費計 (B)	千 円	512	512	512	512	512	512	
		トータルコスト(A)+(B)		千 円	17,682	12,583	11,575	7,689	15,289	14,386
⑤活動指標		ア	回	180	180	180	180	180	180	
		イ	回	5	6	12	12	6	6	
		ウ								
⑥対象指標		カ	施設	7	24	25	25	7	7	
		キ	千人	－	1,016	1,020	1,125	883	1,200	
		ク								
⑦成果指標		サ	件	0	3	1	4	15	0	
		シ	%	100	100	100	100	100	100	
		ス								

事務事業ID	0465	事務事業名	観光施設維持管理事業
--------	------	-------	------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
昭和39年に陸中海岸国立公園に基石海岸が編入されたことを契機として観光客が増加。その利便を図るための観光施設整備に付随し維持管理が必要になった。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
施設の経年劣化があり、特に利用者の多い公衆トイレでは消耗している部品の修理、交換が多くなってきている。
きれいで施設が整備された観光地に観光客が集まるようになった。
平成28年度、商工港湾部内の組織機構の見直しにより観光推進室が新設された。(平成27年度までは商業観光課観光物産係が担当)
環境省による基石海岸集団施設地区復旧・再整備事業(インフォメーションセンター、オートキャンプ場、乱曝谷展望台、普通自動車駐車場、大型バス駐車場)が平成24年度末から着工し平成26年度で完了した。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
東日本大震災で被災した海水浴場(3ヵ所:綾里、浪板、吉浜)のトイレ・シャワー室の早期復旧が要望されている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	観光施設を良好な状態で維持管理することにより、観光客の利便を図ることとなるほかイメージアップにもなり、リピーターの増加に結びつく。	
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	公共施設を良好な状態で維持管理することは市の義務である。	
有効性 評価	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	対象は市内観光施設であり、その維持管理を行うことで間接的に観光客を対象とする事業である。修繕工事等によって施設の維持管理を図るため、意図も適切である。	
	④ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	故障等が発生した場合には修繕を行っている。	
有効性 評価	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	本事業を廃止・休止した場合、施設を良好な状態で維持できなくなり、苦情や不具合が増加すると考えられる。結果的に観光客の減少に繋がる。	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	市が管理する施設の維持管理であり、専門的な知識、ノウハウを要することから他の手段は考えられない。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	専門的な知識・能力が必要なものを以外は職員で対応しておりコストを低く抑えていることから、これ以上の削減は出来ない。	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	コスト低減のために専門能力以外は職員で対応しており、削減余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	観光客をはじめ、施設を利用するすべての人が受益者であり公平である。	

事務事業ID	0465	事務事業名	観光施設維持管理事業
--------	------	-------	------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 修繕等不十分のままだと、施設の経年劣化が早くなるほか、利用者の安全確保の面からも問題となる。結果としてコストが増加することとなるため、迅速かつ適切な対応が必要である。									
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☒ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) (一社)大船渡市観光物産協会の観光支援員と連携し、観光施設を定期的に巡回点検し、不良箇所を発見する。発見した時点で迅速に対応し、大規模修繕が必要になる前に修繕を行ない、観光客や利用者の安全確保に繋げる。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 (一社)大船渡市観光物産協会の観光支援員と連携し、観光施設を定期的に巡回点検し、不良箇所の早期発見、対応をしていく。																							

(職 名) ※原則として施策の主管課長 (氏 名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	観光推進室長	鈴木 弘
-------	--------	------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																							
(2) 2次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由 適切な事務執行がなされている。									
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) ・定期的な巡視等を行いながら、不具合箇所については迅速な対応に努める。 ・既存予算で対応できない修繕等については、緊急度を考慮しながら、必要に応じて予算補正で対応していく。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
